

グルメ料理教室

「笠間グルメ」に関心のある人に伝える「地産地消・笠間グルメ料理教室」が、全5回シリーズで開催されました。

「地産地消・笠間グルメ教室」は13名が参加し、農園の経営者、専門知識をもつ職員などから、地元の野菜や果物のおいしい食べ方を学びながら地産地消を考える教室です。

最終回の第5回は、フランスレストラン「モン・ラパン」のオーナー佐山博昭^{さやまひろあき}さんが講師となり、パレンタイン&ひなまつりのご馳走を作りました。また、参加者それぞれが地元の食材を使った料理を持ち寄り、笠間の食材を味わい、食材の料理法について考えることができました。



修了証を手にする参加者の皆さん

民間自治功労者表彰

2月10日、地方自治の振興発展に尽力した方に贈られる自治功労者表彰式が行われ、立川美登^{たちかわよし}さん（平町）と平倉ヒサ^{ひらくら}さん（平町）が表彰されました。

立川さんは、笠間市外3町広域防火管理協会（現笠間市防火管理協会）の設立に尽力、以後14年の長きにわたり会長を務めたほか、焼死者撲滅活動を行うなど、防火防災の分野で活躍されました。

また、平倉さんは点訳ボランティアとして20数年にわたりボランティア活動を行ったほかボランティア協会やふれあい電話組織の設立、健康推進員協議会初代会長、民生委員などさまざまな分野で活躍されました。



(左) 立川さん、(右) 平倉さん

史上最長のそばいなり寿司巻きが完成! 笠間初午いなり寿司まつり2012

2月4日、笠間稻荷神社の参道で、史上最長のそばいなり寿司巻き作りに挑戦するイベントが行われました。昨年の記録は64.6メートル。記録更新を目指して、市内外から約220人が参加しました。

長く並べられたテーブルに油揚げ、常陸秋そば、きゅうり、卵焼きなど地元産の食材を並べ、慎重にしっかり巻くと、合図とともに一斉に持ち上げ5秒数えました。

記録は66.3メートル。見事、過去最長のいなり寿司が完成しました。その後、いなり寿司は切り分けられ、参加者の皆さんが今年の恵方を向いてほおばりました。



日本一長いそばいなり寿司

音楽をとおして繋がろう! みんなの音楽祭♪

1月21日、笠間公民館大ホールで「第6回みんなの音楽祭」が開催され、市内5つの障害者(児)施設をはじめ、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、ボランティア演奏グループ（トワイライト）が一堂に会しました。

この音楽祭は、障がいのある方もない方も一緒に音楽を楽しみ、音楽の力で心のバリアフリーを目指すために開かれているものです。

合唱や楽器演奏、ダンスなどさまざまな発表が行われ、参加した人は練習の成果を発揮するとともに音楽の楽しさを満喫しました。



息の合ったダンス

栗による地域ブランドの確立を目指して

2月6日、栗生産者の組織「かさまの栗つたえ隊（KKT6）」が、市内の栗加工事業者と栗製品製造事業者を訪問し意見交換を行いました。

栗による地域ブランド確立のため、地域が一体となってブランド化に取り組む第一歩として行われたもので、生産者と加工、調理する人などが、栗に対するお互いの思いを伝え合いました。



栗加工事業者との意見交換の様子



学生の知恵をまちづくりに生かそう!

2月4日、大原小学校で茨城大学生による卒業論文発表会が開催されました。

茨城大学でまちづくりを学び研究している学生たちに発表の場を提供することと、研究の内容を地域に伝え、地域の中で生かしてもらうことを目的として毎年開催されています。

発表を行ったのは茨城大学齊藤ゼミと小原ゼミに籍を置く20人。会場には55人の聴衆が来場し、学生の発表に質問をするなど、地域活性化のための有意義な時間を過ごしました。



発表後にはワークショップも行われました

かさま環境フォーラム2012

2月18日、笠間公民館で「かさま環境フォーラム2012」が、現在の豊かな自然環境を次世代に継承していくことを目的に開催され、350人を超える市民が参加しました。

「自然豊かな笠間を子どもたちにつないでいくために」をテーマに、笠間市岩間環境美化推進協議会とNPO法人ノースマークによる環境に関する取組みの発表や「これからの環境問題を考える」と題する木原実さん（日本テレビお天気キャスター）の講演が行われたほか、環境に関するパネルが展示され、来場した人は環境に対する認識を深めていました。



木原さんによる講演

平成23年度統計功労者表彰 受賞者を紹介します(敬称略)

総務大臣表彰

鈴木 満雄

茨城県知事表彰

飯田 栄 國井 大也 本間 幸雄

茨城県統計協会総裁表彰

埴 明子 上野 史雄
菅谷 文孝 赤津 文男

経済産業省大臣官房調査統計審議官感謝状

稲野邊茂生 山田 陽子 馬場 眞弓



左から飯田さん、國井さん、稲野邊さん、上野さん、本間さん